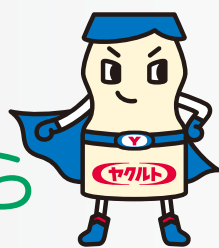


自然と共生し、環境と調和しながら生産活動を推進

株式会社岡山和気ヤクルト工場は、2014年オープンの乳製品工場です。環境に配慮した取り組みをはじめとしたさまざまな活動をご紹介します。



社長メッセージ

生産効率の向上と従業員一人ひとりの環境意識向上でさらなる環境負荷軽減を目指す

緑あふれる自然豊かな場所に位置する岡山和気ヤクルト工場は、乳製品の調合・充填・包装・出荷までを担う工場です。HACCP※1、ISO 9001※2、ISO 14001※3に基づき高いレベルで製品の品質と安全性を確保しています。

設計にあたっては、製品品質と作業効率の考慮はもちろんのこと、さまざまな環境配慮型設備を備えることでCO₂の削減や、水使用量の削減を目指しました。

当工場の活動の軸は「心技体+道具」の充実です。「心」は代田イズムや企業理念、「技」は知識や技法、「体」は従業員の健康や労働安全、「道具」は設備やツールを表しています。「技」においては、ISO規格に基づいたPDCAをさまざまなレベルで進めています。また、ISO 14001を参考に、従業員一人ひとりが、業務における自分の環境面での役割を自覚できるよう環境教育を推進しています。「道具」においては、機械の生産効率を向上させることで品質の向上と省エネルギー化を推進しています。

工場を効率的に稼働させ、環境活動を推進するのは機械ではなく人です。「心技体」を充実させ、計画に基づいた教育だけでなく、日々の仕事の中で、先輩から後輩へどんなささいなことでも技術や経験を少しずつでも伝えていける風土を醸成し、工場全体のレベルアップを図っていきます。

株式会社岡山和気ヤクルト工場
代表取締役社長

三好 弘祐

※1 HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point) : 製造工程全体の衛生管理を徹底することで品質を保障するシステム
※2 ISO 9001 : 品質マネジメントシステムの国際規格
※3 ISO 14001 : 環境マネジメントシステムの国際規格

貢献するSDGs



「安全・安心」で高品質な製品を製造するとともに、効率的な生産や環境配慮型設備により、CO₂排出量や廃棄物排出量、水使用量の削減を実現しています。また、工場周辺の清掃活動、適正な排水処理を通じて、生物多様性の保全に貢献しています。

基本情報

所在地	岡山県和気郡和気町田原下字高柳269
敷地面積	62,011.84㎡
従業員数	約160名
生産開始時期	2014年11月
生産品目	Newヤクルト、ヤクルト400LT
供給エリア	中四国、近畿、中部、東日本(一部)

作業環境の向上のために

人が作業しやすく、負担の少ない環境の整備に取り組んでいます。ヤクルト容器をつくる「成形室」では、給排設備のほか空調を導入して、作業しやすい室内温度を保っています。成形室でできた容器が送られ、「ヤクルト」の内容液を注入・密封する「充填室」では、壁に吸音材を貼りつけて騒音レベルの改善を行っています。



空調を備えた成形室

健康への取り組み

従業員の心と体の健康のために、健康に関する各種講習会の開催やがん検診の推進、活発なコミュニケーションによるメンタルヘルスケアに取り組んでいます。2018年6月には健康保険組合連合会東京連合会から健康優良企業(銀の認定)に認定されました。

また、「和気町健康づくり推進計画」策定に参画し、工場での健康増進の取り組みを紹介しています。



2019年5月 工場祭の日に撮影

岡山和気ヤクルト工場 ニコポイント

Pick up 1 再生可能エネルギーの利用(太陽光発電)

事務棟正面の壁面、駐車場の屋根、事務棟・生産棟の屋上に太陽光パネルを設置しています。晴れの日が多いという地域特性を活かして、効率の良い発電ができています。

発電量 312,497 kWh (2018年度)



屋根に採光型の太陽光発電パネルを設置し、木漏れ日を連想させる駐車場



工場見学用通路で発電状況を確認できる

Pick up 2 CO₂排出量の削減(省エネ設備の導入)

さまざまな環境配慮型設備により、生産時のCO₂排出量を削減しています。省エネタイプの成形機への切り替えを推進しているほか、冷却水製造工程では蓄熱システムを採用して、夜間電力を利用し電力のピークシフトに寄与しています。照明はほぼ全室でLEDを使用し、人の出入りが少ない箇所では人感センサーを設置して節電しています。

CO₂排出量 6,457 t-CO₂ (2018年度)

Pick up 3 高レベルな排水処理と水使用量の削減

工場で発生する洗浄水などの排水は、高濃度嫌気性処理とヤクルトろ材※によって処理されています。河川に放流する水質は法規制で定める水質基準よりさらに厳しい自主基準を定め管理しています。また、排水処理場で回収した排水や、雨水の一部をろ過・貯留し、工場緑地の散水に利用することで水使用量そのものも削減しています。

※ ヤクルトろ材：ヤクルトの容器の底を抜いたもの。ヤクルトろ材に棲みつく微生物の力を利用して、排水を浄化することができる



浄化槽の中で「ヤクルトろ材」が活躍中!

ヤクルトろ材を活用した工場排水処理について詳しくは
<https://www.yakult.co.jp/csr/environment/water/index.html>

※写真はイメージです

Pick up 4 徹底したごみの分別とリサイクル

廃棄物は紙・アルミ・プラスチックなどに細かく分類され、リサイクルすることでゼロエミッションに向けた取り組みを推進しています。



ごみ分別ステーション

Pick up 5 緑化活動

毎年「グリーンウェイブ」に参加し、2017年・2018年にはソメイヨシノを植樹しました。



環境推進委員会より

施設管理係長
環境推進委員会事務局
栄留 正利



副参事 兼
施設管理課長
環境推進委員会委員長
谷本 豊三



ヤクルト本社のCSR行動計画に基づき環境計画を策定し、CO₂排出量、廃棄物排出量、水使用量の削減に努めています。工場周囲をはじめ、近くを流れる吉井川周辺の清掃や、全社員に対して環境法令に関する教育、作業時の環境配慮の啓発をするほか、河川に有害物質が流出したケースを想定した訓練教育も年1回実施して、工場が地域に与える環境影響の意識づけを行っています。